

第10回

満月の夜開く けいはんな哲学カフェ「ゲーテの会」

昔から祭りは満月の夜に開かれてきました。“けいはんな哲学カフェ「ゲーテの会」”は、そんな満月の夜に「文明の未来と人類の幸福」について考える会です。高等研の庭にはゲーテの胸像があります。その視線は「フクシマ」のほうを見やりつつ、近代文明の現状を憂いているかのようではありませんか。

けいはんな学研都市の建設理念は、「従来の近代科学技術文明を乗り越え、新たな地球文明を創造するために、西欧が生み出した文明の成果と自らに固有の東洋的文化を総合する」ことにあります。ゲーテの胸像はその理念のシンボルです。今宵、ゲーテに立ち返りながら、近代科学文明のあり方を一緒に再考してみませんか。

(2013年8月21日開催の発足会案内より抜粋)

日時： 2014年 **5月15日(木)** 18:00~20:30

場所： **公益財団法人国際高等研究所**

講演： 未来社会はいかにあるべきかー人類の未来と幸福を考えるー (Part I)

ディストピア化する世界 ー求められる新しい世界統治システムの構築ー

講師： **唐沢 敬** 先生

【講演要旨】

貿易、投資、資源、領土等をめぐる先進国・新興国・後発途上国間の紛争や対立が規模と速度を増し、政治対立、民族紛争、雇用、所得、貧困等をめぐる争いが軍事力を背景にした力の行使にまで及んでいる実態は深刻である。ロシアによるクリミア併合とウクライナ危機はその典型で、冷戦後の世界秩序を崩壊させる危険性がある。今日の危機の多くは戦後資本主義と世界経済の発展過程、新興経済の工業化や近代化との関係における対立や摩擦が原因で引き起こされてきており、経済や市場のグローバルな拡大に対する制度やシステムの不備が危機を増幅させている。先進国経済の衰退、新興国経済の鈍化、拡大する格差と紛争、資源環境制約…等、歪み、疲弊し、ディストピア化する世界経済と政治秩序をいかに立て直すか、日本の新しい役割を含め、皆さんと共に考えたい。

*ディストピア(英語: dystopia)は、ユートピア(理想郷)の正反対の社会。地獄郷とも言われる。

【講師略歴】

1935年生まれ。立命館大学名誉教授・経済学博士。専門は現代世界経済論、資源・エネルギー経済論、アジア・太平洋地域研究。主著に、『転成期の世界経済』(文眞堂)、『アジア 経済危機と発展の構図』(朝日新聞社)、『資源環境と経済学』(中央経済社)などがある。



参加費： **2,000円** (講演終了後の交流・懇談会費用を含む)

定員： **40名** (先着順)

申込： 「参加申込書」(裏面)によりお願いいたします

参加申込書

- 下記に必要事項を記入して、FAX 又は郵送でお申し込みください。
- E-mail でのお申し込みの場合は、以下の内容を記載してお申し込みください。
- なお、申込書記載の個人情報は、当会の開催ご案内等を行うために使用させていただきますが、外部に公開することはありません。

◆ お問い合わせ、お申し込み先 ◆

〒619-0225 京都府木津川市木津川台9丁目3番地

公益財団法人国際高等研究所 事業部

けいはんな「ゲーテの会」事務局 (担当：竹島)

E-mail : goethe0828@iias.or.jp FAX : 0774-73-4005

第10回 満月の夜開く けいはんな哲学カフェ 「ゲーテの会」 2014年5月15日(木)開催		
お名前		
ご所属		
部署		
役職		
連絡先	ご住所	
	TEL	FAX :
	E-mail	

■ 会場案内

